

鳴海周平の

ぶらり旅

札幌市・南区編

今夏、福岡を皮切りに、名古屋・大阪・仙台のお話会へサプライズゲストとしてご登場いただいた「ときめきの富士」写真家のロッキー田中さん。

2017年にはエヌ・ピュア健康セミナーのゲストとして、札幌へもお越しいただきました。

紅葉が旬を迎えた札幌南部の観光名所・豊平峡と藻岩山へご一緒した旅を振り返ります。

札幌市を含む石狩平野を一望することができる藻岩山。標高531mの山頂まではロープウェイとケーブルカーを乗り継いで到着します。



長崎市、北九州市と共に「日本新三大夜景」に選ばれている藻岩山からの夜景。月の眺めも美しいことから「日本百名月」のスポットにも認定されています。



1972年に完成した豊平峡ダム。国立公園内の環境保護エリアにあって「紅葉の名勝地」としても人気を集めています。

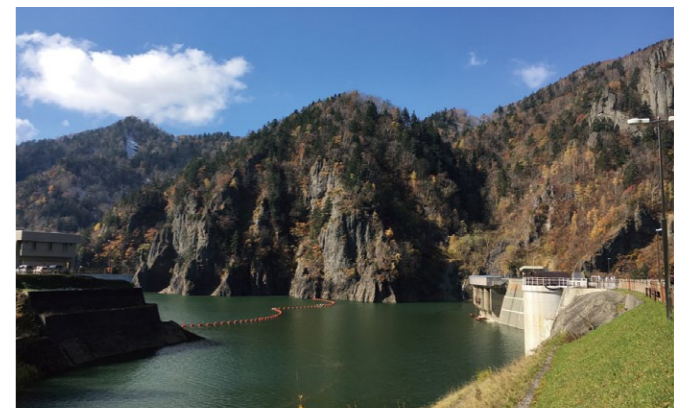


各地で開催している「鳴海周平のお話会」にサプライズ登場してくださったロッキー田中さん。ご参加の皆さんも大喜びでした。

「北海道はアイヌの方々がたいせつに
そうした独特のスタイルから「富士山から呼ばれる写真家」「現代の北斎」と言われ、撮影した作品が「奇跡的な写真！」と、多くのマスメディアにも紹介されているロッキー田中さん。健康セミナーの翌日に、「一緒に豊平峡と藻岩山でも、素晴らしい風景がロッキーさんを歓迎してくれました。」

「富士山の写真を撮るために、私は山麓でじっと待っていることはありません。イメージしたシーンがあつて『明日、あの場所、あの時間！』というインスピレーションで富士山へ向かい、1時間前にピンポイントでその地点に立つんです」

「こういう時だから、少しでも皆さんに喜んでいただけたらと思って…」
世界で唯一人の「ときめきの富士」写真家・ロッキー田中さんから、そんなありがたいお声かけをいただいたことから始まったサブプライズ企画。福岡・名古屋・大阪・仙台の「お話し会」各会場に「ときめきの富士」が展示され、そこへまさかのご本人登場！歓喜のエネルギーに満ちた会場を眺めながら、2017年に札幌市で開催されたエヌ・ピュア健康セミナーへお越しいただいた時のことを思い出しました。



高さ102.5mのアーチ式コンクリートダム。札幌ドーム約30杯分の水を貯めることができます。



ロッキー田中さんと豊平峡ダムにて。右の看板「だむみえ〜」は、ストレートなネーミングも魅力的なレストハウス(笑)

「アイヌ語で「インカルシペ(いつもそこへ上がって見張りをするところ)」と云われ、幕末の探検家・松浦武四郎が「アイヌにとって物見をする山であると同時に、尊い神の山だった」と書き残している藻岩山。アイヌの先人の想いが、時を超えて、ロッキーさんの感性と共鳴したことに深い感銘を受けた旅でもありました。
ロッキー田中さん、このたびも楽しいひと時をどうもありがとうございました。ごさいました。
ロッキー田中さん「ときめきの富士」は本誌16ページをご覧ください。」



紅葉を眺めながらのティータイム。「北海道の宇宙人」こと、村松祐羽さんも一緒にいただきました。



訪ねたのは紅葉が旬を迎えた10月中旬。色とりどりに染まった山々が青空にいつそう映えていました。